

【日本ナレッジ・マネジメント学会・第26回年次大会】

○大会テーマ

「AIと人間の知～AIと人間が共創する、未来型のナレッジ・マネジメント」

○開催概要

日時：2023年12月3日（日） 9:20～17:50（開場 9:00）

開催方式：リアル会場とZoom配信のハイブリッドを予定

会場：立教大学池袋キャンパス 9号館 大教室（605名収容可能）

<https://jp.docs.wps.com/l/sIBaftJWSAZfiyqoG>

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1（最寄り駅 池袋駅）

○テーマ選定の背景と目的

我が国が目指す未来社会 Society 5.0 に向けて、私たちを取り巻く環境は、IoT・DX(デジタルトランスフォーメーション)・生成AI等、急速に進化・発展し、まさに今、パラダイムシフトとも言える大きな変革期を迎えています。

一方、人間が生み出す「知」等は、かけがえない貴重な資産であり、人間の知とAIは、互いに補完し、共創して、新しい形の知を創造する、未来の叡智たる可能性を秘めています。第26回日本ナレッジ・マネジメント学会年次大会では、「AIと人間の知」をテーマとして、これからの時代のAIと、人間の知である、ナレッジ・マネジメント（知識創造・知識共有・知識伝承）のあり方について、深めていければと思います。

人間の知、すなわち、ナレッジおよび知的資本は、人的資本から生まれます。AIと人間の知は、いかに融合して行くのか？ 有識者の方々、学会メンバー、一般参加者の皆様とともに、考える機会としたいと思います。ぜひ、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。 第26回年次大会実行委員長 田原祐子

○プログラム

9:00 開場 9:20 開会挨拶：日本ナレッジ・マネジメント学会会長

IMD（スイス、ローザンヌ）教授、一橋大学名誉教授 一條和生

第1部 講演とパネルディスカッション

【基調講演】9:30 - 10:20

「AI発展の経緯～生成AIから、未来のAIまで」

～Society5.0のための人と共進化するAI：テキストの生成から実社会現象の生成へ～」

講師：国立研究開発法人産業技術総合研究所

人工知能研究センター 主席研究員

人工知能技術コンソーシアム 会長 本村陽一氏

【パネルディスカッション】 10:20 - 12:40

「AI と人間の知」～われわれ人間は、どのように AI の知と共存・共創していくか

10:25 - 10:30 パネリストのご紹介

10:30 - 10:55 発表：「AI 時代の知財戦略」

内閣府 知的財産戦略推進事務局長 奈須野太様

10:55 - 11:15 発表：「生成 AI との対話と共創」

大阪教育大学 理数情報教育系 特任准教授

(株)エクサウィザーズ AI イノベーショングループ

AI コンサルタント 安松健様

11:15 - 11:35 発表：「AI によるナレッジ経営の進化

～日経記事にみる法務・知財ビジネスの変貌」

日本経済新聞社 東京本社編集局 総合解説センター 編集委員 渋谷 高弘様

11:35 - 11:55 発表：「データベースを活用したナレッジを、どうマネジメントするか」

(株)ユーザベース SPEEDA 事業執行役員 技術領域事業 CEO 伊藤竜一様

11:55 - 12:35 パネルディスカッション

「AI と人間の知」～われわれ人間は、どのように AI の知と共存・共創していくか

パネリスト：奈須野太様、本村陽一様、安松健様、渋谷高弘様、伊藤竜一様

モデレーター：日本ナレッジ・マネジメント学会 理事

社会構想大学院大学 (株)ベーシック 代表取締役 田原祐子

12:35 - 12:40 パネルディスカッション・クロージング

*集合写真撮影、昼休み

12:40-13:40 昼休み

第2部 研究発表（自由論題）（13:40 - 18:00）

（20分報告+10分コメンテーター質疑+10分会場質疑）

研究発表1（13:40 - 14:20）

論題：「地域的知識創造における変革のキーパーソン研究-森林セラピ

-先進地域における知識共有と共創の事例から学ぶ-」

報告者：信田勝美氏（品川クリエイティブラボ／高知工科大学）

西原（廣瀬）文乃氏（立教大学経営学部）、桂 信太郎氏（高知工科大学）

司会・コメンテーター：西中美和氏（香川大学大学院地域マネジメント研究科 教授）

研究発表 2 (14:20 - 15:00)

論題：「技能者の気づく能力の向上を促す職場学習

—化学メーカー X 社研究開発現場における事例—」

報告者： 鈴木 聡美氏 (北陸先端科学技術大学院大学)

内平 直志氏 (北陸先端科学技術大学院大学 教授)

司会・コメンテーター： 植木英雄氏 (東京都立産業技術大学院大学 客員教授)

研究発表 3 (15:00 - 15:40)

論題：「自動車企業の CASE や MaaS におけるソフトウェアファースト実現に向けて」

報告者： 酒瀬川 泰孝氏 (立教大学経営学部兼任講師)

植木 真理子氏 (拓殖大学商学部教授)

司会・コメンテーター： 中鉢欣秀氏 (東京都立産業技術大学院大学 教授)

研究発表 4 (15:40 - 16:20)

論題：「知識創造活動への自発的参加の促進要因に関する考察—ナレッジ・マネジメントと自己実現理論の接続可能性の検討」

報告者： 西村 歩氏 (株式会社 MIMIGURI)

司会・コメンテーター： 西原(廣瀬) 文乃氏 (立教大学経営学部)

研究発表 5 (16:20 - 16:50)

論題：「『教わる』ことからの脱却～成人学習のわざ、ペタゴジーからアンドラゴジーへ～」

報告者： 清水美也子氏 (NPO 法人 SECI プレイス)

河田 卓氏 (株式会社ナレッジノード)

三輪 建二氏 (星槎大学大学院 特任教授)

水野 昌彦氏 (アイデアプランズ合同会社)

司会： 穂積 義剛 (株式会社内田洋行)

研究発表 6 (16:50 - 17:20)

論題：「Sales force Automation を効果的に活用したナレッジ・マネジメント～SFA 活用の課題と、解決に向けたアプローチ」

報告者： 田原祐子氏 (株式会社ベーシック (社会構想大学院大学))

司会： 穂積 義剛 (株式会社内田洋行)

研究発表 7 (17:20 - 17:50)

論題：「ユーザー・イノベーションの普及とユーザーのナレッジ—医療機器の事例から—」

報告者：筒井万理子氏（近畿大学）

司会：穂積 義剛（株式会社内田洋行）

17:50 閉会挨拶 日本ナレッジ・マネジメント学会 理事 田原祐子

参加費：会員（個人・法人）無料、一般 5000 円（学生無料）

締め切り：11月30日(木) 参加申し込み先：<https://kmsj2023.peatix.com>

備考：Peatix より参加お申込みをされた方には前日までに Zoom オンラインの ID、パスワード、Zoom 招待 URL を自動配信いたします。

（なお、一般参加者で本学会に入会を申し込まれる方の参加費は無料にさせていただきますので、学会ホームページ 入会方法 | 日本ナレッジ・マネジメント学会 (kmsj.org) の入会申し込み書に記載して本学会事務局 kmsj@ibi-japan.co.jp にその旨を明記して送付願います。

日本ナレッジ・マネジメント学会の活動にご興味のある方々にもご参加を頂き、盛会を目指したいと思えます。ご支援とご協力をお願いいたします。

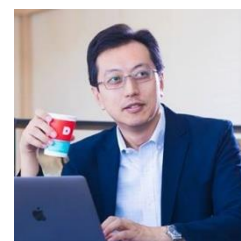
大会終了後には、懇親会も企画しております。詳細は下記リンクをご覧ください。お申込みもこちらのフォームからお願い致します。<https://forms.gle/ek2oMmbHHbiEmmX87>

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

○登壇者のご紹介

本村 陽一 氏

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター首席研究員
博士（工学）、人工知能技術コンソーシアム会長
東京工業大学大学院特定教授、神戸大学客員教授



奈須野 太 氏

内閣府 知的財産戦略推進事務局長



安松 健 氏

株式会社エクサウィザーズ AI イノベーショングループ AI コンサルタント国立
大学法人 大阪教育大学 理数情報教育系 特任准教授



渋谷 高弘 氏

日本経済新聞社 東京本社編集局 総合解説センター 編集委員



伊藤 竜一 氏

株式会社ユーザベース SPEEDA 事業執行役員 技術領域事業 CEO



一條和生

日本ナレッジ・マネジメント学会 会長

IMD (スイス、ローザンヌ) 教授、一橋大学名誉教授



○モデレーター (第 26 回年次大会実行委員長)

田原祐子

日本ナレッジ・マネジメント学会理事 (新産業革命研究部会長)

社会構想大学院大学 実務教育研究科教授 株式会社ベーシック 代表取締役

